

# センプラム施工要領書

千葉県船橋市前原西2-17-12 DOGO津田沼ビル  
株式会社リーベ

T E L (047)-470-9170

F A X (047)-470-9073

# 目次

・ センプラム材料特性

・ センプラム施工手順

## ・ 施工上のご注意

1. コンクリート下地
2. 軽量ラスモルタル・モルタル下地
3. 石膏ボード下地（室内用）
4. ラスカットボード下地
5. 合板下地（室内用）
6. ALC 板下地
7. リシン・タイル・他下地（リフォーム用）
8. 窯業系サイディング下地
9. デラクリート下地
10. フレキシブルボード下地
11. 開口部廻り

## センプラム材料特性

### 成分別重量比

- ・モルタル重量比 25%
- ・骨材・着色粒鉱物重量比 72%
- ・軽量骨材(見掛け比) 60 k g / m<sup>2</sup>
- ・防水材、撥水材、ガラス繊維、  
可遡化通気材、無機質顔料重量比 3%

### 製品特徴

- ・粉末
  - ・粉末体積密度 1.47 k g / l
  - ・焼成残留分 灰 99.0-450C  
1.0-900C
- 残留(上)mmの上に残留する 15  
60 r /mの上に残留する 60  
p h 値 11.2

### 製品データ

- ・硬化製品密度
- ・伸縮引張強度 7日間 3.3 k g / s q . c m  
28日間 3.5 k g / s q . c m
- ・圧縮強度 7日間 8.4 k g / s q . c m  
28日間 8.6 k g / s q . c m
- ・動的弾性率 9.2 k g / s q . c m
- ・収縮度 0.13mm / m
- ・毛管現象 1.5 g r / s q . d m
- ・透水性 0.67 g / m<sup>2</sup>h mm H g
- ・接着強度 7 k g f / s q . c m

## センプラム施工手順

### 手順 1

- ・美しく長持ちさせる秘訣は、素地の調整と下地の清掃が最も大切です。
- ・パテ、サンダー等で下地を滑らかにしてください。

### 手順 2

- ・十分な下地の乾燥が大切です。

### 手順 3

- ・より高級感と美しさのために、下地の目地詰めを行います。  
凹・凸面の処理も、完全に行ってください。
- ・その後、吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液等)を塗布してください。

### 手順 4

- ・下地表面が完全に乾ききってから第 1 回目の下塗り(2~3mm厚)を行ってください。
- ・ 1 袋 (30 k g) あたり、ハイフレックス 3 倍液 (ハイフレックス : 水 = 1 : 3) を 6 ~ 7 リットル加えてください。  
※色ムラをさける為、ハイフレックス 3 倍液の分量は 1 袋に対し、必ず均一にしてください

### 手順 5

- ・乾燥後 (晴れの日で 3 0 分程度)、第 2 回目の塗り(4~7 mm厚)を行います。  
(上塗り・仕上げ塗り)  
ここで色の混合や模様付けを行い、さまざまな表情を演出します。

## 施工上のご注意

### 1.保管

- ・パレット等へのせ、直接地面に置かないで下さい。
- ・雨に濡れたり、湿気を含むような事がないように注意してください。
- ・直射日光は避けてください。

### 2.作業条件

- ・塗りつけ作業時の気温が5℃～35℃以外の時は、作業を避けてください。
- ・雨天、及び降雨が予想される場合は作業を中止するか、養生シート等で完全な養生を行ってください。
- ・風の強い日の作業には乾き過ぎの恐れがありますので、表面硬度を確認しながら作業を進めて下さい。
- ・下地の吸水調整の為に、吸水調整剤(例:HF-1000 ハイフレックス6倍液)を塗布してください。
- ・広い面積を作業する場合は、センプラムに吸水調整剤(HF-1000 ハイフレックス3倍液)で混練りしてください。
- ・乾燥前に降雨が予測される場合は、濡れ防止剤又は、白華防止剤の使用をお勧めします。
- ・施工後、24時間(雨天、冬期は48時間)は白華現象を防ぐ為にシート養生を行ってください。

### 3.混練り

- ・水を加える前に十分な空練りを行ってください。
- ・固まりはじめた製品への再加水は避けてください。色むらの原因になります。
- ・モルタルミキサーを使用し、製品 30kgに対して6～7リットルの水を徐々に加えて完全に混ざるまで混練りして下さい。

### 4.塗り方法

- ・色むらや白華現象を避ける為下塗り(2～3mm)上塗り(4～7mm厚)共、規定厚で塗ってください。

### 5.標準塗り厚

- ・下塗り 2～3mm厚
- ・上塗り 4～7mm厚

### 6.その他

- ・窯業系サイディングへのセンプラム直塗りは絶対に避けてください。
- ・使用環境、無理な施工方法により、ヒビ割れ、クラック等が発生する場合がございます。ヒビ割れ、クラック、白華現象においては、一切の責任は負えません事、ご理解をお願い致します。

043-216-8940 株式会社リーベ

### 7.その他

- ・ご使用の環境によりましてはカビが発生する可能性がございます。より末永く美しくご使用いただく為には防カビ剤の混入、光触媒塗装をおすすめ致します。

## 1. コンクリート下地

### 注意事項

- ・清掃 付着した汚れや塗装材を、サンダー・剥離材等で除去して下さい。
- ・シーラー処理 清掃完了後、乾燥した面に吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス6倍液)を全面に塗付して下さい。
- ・下塗り 乾燥後仕上げの時の色むらを避ける為塗布厚 2～3mmで均一に塗って下さい。(センプラム 1袋/30kg に対してハイフレックス3倍液約 6～7リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30分程度)塗布厚 4mm以上で仕上げして下さい。

コンクリート下地
吸水調整材(例：HF-1000・ハイフレックス6倍液 120～150 g / m <sup>2</sup> 塗布)
下塗り (センプラム 2～3mm厚)
上塗り (センプラム 4mm厚以上)

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 2. 軽量ラスモルタル・モルタル下地

### 特徴

- ・センプラムは、ラス下地に直接塗りが可能です。
- ・軽量モルタル・モルタル塗りの肯定を省いて施工できます。

### 注意事項

- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2~3mmで均一に塗って下さい。  
(センプラム 1 袋/30k g に対してハイフレックス 3 倍液約 6~7 リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30 分程度)塗布厚 4mm 以上で仕上げして下さい。

9mm以上(合板)	構造用合板・野地板
	アスファルトフェルト 20k g 使用以上
	波形ラス・ダブルラス
	下塗り センプラム 2~3mm厚
	上塗り センプラム 4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

- ・波形ラス・野地板に直接センプラムを塗る場合は、建築基準法上のモルタル厚にご注  
意願います。

### 3. 石膏ボード下地(室内用)

#### 注意事項

- ・シーラー処理 石膏ボードの表面に、吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス6倍液)を全面に塗付して下さい。
- ・目地 継ぎ目は発泡ウレタン等で、縦・横とも(目透)7mm以上の目地をとって下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚2～3mmで均一に塗って下さい。  
(センプラム1袋/30kgに対してハイフレックス3倍液約6～7リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約30分程度)塗布厚4mm以上で仕上げして下さい。

石膏ボード下地 (目地はバックアップ材・ウレタン等で処理→上から寒冷紗をかぶせる)
吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス6倍液 120～150g/m <sup>2</sup> 塗布)
下塗りセンプラム2～3mm厚
上塗りセンプラム4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 4. ラスカットボード下地

### 注意事項

- ・下地 ラスカットボード下地は、施工前に必ず雨養生を行って下さい。  
継ぎ目には必ずコーキングを施して下さい。
- ・シーラー処理 乾燥した面に、吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液)  
を全面に塗付して下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2～3mm で均一に塗って下さい。  
(センプラム 1 袋 / 30 k g に対してハイフレックス 3 倍液約 6～7 リットル  
で混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30 分程度)塗布厚 4mm 以上で仕上げて下さい。

ラスカットボード下地 (目地はコーキング処理→上から寒冷紗またはファイバーメッシュをかぶせる)
吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液 120～150 g / m <sup>2</sup> 塗布)
下塗り センプラム 2～3mm厚
上塗り センプラム 4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 5. 合板下地(室内用)

### 注意事項

- ・ 下地 灰汁の発生がないか確認して下さい。  
灰汁の発生が見られた場合は、完全な灰汁止めを施して下さい。
- ・ シーラー処理 乾燥した面に、吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス6倍液)  
を全面に塗付して下さい。
- ・ 下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚2～3mmで均一に塗って下さい。  
(センプラム1袋/30kgに対してハイフレックス3倍液約6～7リットルで混練りしたもの)
- ・ 上塗り 下塗り材が乾燥後(約30分程度)塗布厚4mm以上で仕上げて下さい。

合板(9mm以上)下地(目地：アクリルコーキング処理) →目地部分：上から寒冷紗またはファイバーメッシュをかぶせる
吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス6倍液 120～150g/m <sup>2</sup> 塗布)
下塗りセンプラム2～3mm厚
上塗りセンプラム4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 6. ALC 板下地

### 注意事項

- ・目地 コーナーのジョイント部は、縦・横とも最大 3m 毎に目地をとって下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2～3mm で均一に塗って下さい。  
(センプラム 1 袋 / 30kg に対してハイフレックス 3 倍液約 6～7 リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30 分程度)塗布厚 4mm 以上で仕上げして下さい。

ALC 板	
目地	→ALC 専用下地調整剤(目地コーキング処理) (例：アルタック又は A フィラー固練)
	ALC 専用下地調整剤(例：アルタック 3～5mm 厚塗布又は K タックノロ掛け 1mm 薄塗 又は A フィラー 1.3kg / m <sup>2</sup> 塗布)
下塗り	センプラム 2～3mm 厚
上塗り	センプラム 4mm 厚以上

### ●ALC 施工基準

DR・SDR 構法 ×

スライド構法 ◎

挿入筋構法 ◎

※DR・SDR 工法には施工しないでください。

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 7. リシン・タイル・他下地(リフォーム用)

### 注意事項

- ・下地 施工前に下地調査を行って下さい。  
各部位を水で高圧洗浄(80 l g f / m<sup>2</sup>)し、剥離のない事を確認しテスト塗  
りを実施して付着強度確認テストを行って下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2~3mmで均一に塗って下さい。  
(センプラム 1 袋 / 30 k g に対してハイフレックス 3 倍液約 6~7 リット  
ルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30 分程度)塗布厚 4mm以上で仕上げして下さい。

既存下地	
	既存仕上げ(タイル・吹付け等)
	カチオン系下地調整剤 (例：カチオンフィラー又はカチオンボンド 1.3kg / m <sup>2</sup> 塗布)
	吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液 120~150 g / m <sup>2</sup> 塗布)
下塗り	センプラム 2~3mm厚
上塗り	センプラム 4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 8. 窯業系サイディング下地

### 注意事項

- ・下地 窯業系サイディング下地の施工については、裏面吸水率と表面吸水率の差をなくした上で施工して下さい。
- ・シーラー処理 乾燥した面に、吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液)を全面に塗付して下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2～3mm で均一に塗って下さい。  
(センプラム 1 袋/30kg に対してハイフレックス 3 倍液約 6～7 リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30 分程度)塗布厚 4mm 以上で仕上げて下さい。

窯業系サイディング下地
目地→カーボンメッシュ処理
カチオン系下地調整剤 (例：カチオンフィラー又はカチオンボンド 1.3kg/㎡塗布)
吸水調整剤 (例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液 120～150g/㎡塗布)
下塗り センプラム 2～3mm厚
上塗り センプラム 4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 9. デラクリート

### 注意事項

- ・シーラー処理 樹脂系モルタルを全面に塗布して下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2～3mmで均一に塗って下さい。  
(センプラム 1袋/30kg に対してハイフレックス 3倍液約 6～7リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30分程度)塗布厚 4mm以上で仕上げして下さい。

デラクリート下地
目地部分→寒冷紗処理
カチオン系下地調整剤(例：カーボンフィラー又はカチオンフィラー (1～2mm厚) 全面塗布 1.3kg/㎡塗布)
下塗り センプラム 2～3mm厚
上塗り センプラム 4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 10. フレキシブルボード下地

### 注意事項

- ・下地 15mm厚以下のフレキシブルボードには、センプラムは使用しないで下さい。
- ・シーラー処理 乾燥した面に、吸水調整剤(例：HF-1000・ハイフレックス 6 倍液)を全面に塗付して下さい。
- ・下塗り 乾燥仕上げ時の色むらを避ける為塗布厚 2～3mmで均一に塗って下さい。  
(センプラム 1 袋/30kg に対してハイフレックス 3 倍液約 6～7 リットルで混練りしたもの)
- ・上塗り 下塗り材が乾燥後(約 30 分程度)塗布厚 4mm以上で仕上げして下さい。

フレキシブルボード
目地→カーボンメッシュ処理
カチオン系下地調整剤(例：カチオンフィラー1～2mm塗布)
下塗り センプラム 2～3mm厚
上塗り センプラム 4mm厚以上

上塗りは仕上げ方法により塗り厚が変わります。

## 11. 開口部廻り

### 注意事項

- ・一般開口部廻りは、寒冷紗又はファーマーメッシュ部分伏せこみを実施して下さい。
- ・1m以上の開口部(ベランダ下、窓等)は、寒冷紗又はファイバーメッシュで補強して下さい。